



土浦薪能

会長 完賀 浩光 幹事 栗野 哲雄

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2024~2025年度
国際ロータリーテーマ



2024年9月24日 9号
2024年9月10日 第2例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|--------------------------|-------------|----------------|---------------|
| 1. 点 鐘 | 完賀浩光会長 | 7. 会員卓話 | |
| 2. ロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | 「地区委員活動報告」 | 柴沼博之会員・杉田一男会員 |
| 3. 幹事報告 | 栗野哲雄幹事 | 8. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 4. 今月の結婚記念日 | | 9. 点 鐘 | 完賀浩光会長 |
| 5. 委員会報告 | | 10. ロータリーソング斉唱 | |
| 6. ニコニコ BOX の発表 | 米山忠康副 S A A | (それこそロータリー) | |

(司会進行 吉田正一 S A A)

本日のプログラム

つくば国際大学 東風高等学校 校長 大崎弘美様の卓話でございます。

次週のプログラム

10月1日(火)の例会は、大岩田二区みんなの食堂 主宰 久保田紀子様をお招き致します。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
87	60	5	71.43	5・10	4・9・11・12	11	84.52

【委員会報告】

親睦活動委員会

大山直樹 委員長

9月8日(日)に委員会合同親睦会を行いました。クラブ管理運営委員会の片岡委員長をはじめ、出席委員会・親睦活動委員会・プログラム委員会・公共イメージIT委員会・会報委員会の総勢13名にお集り頂きました。各委員会の悩み事に対するアドバイスも多くあり、とても有意義な時間となりました。

【会員卓話】

地区委員活動報告

地区青少年奉仕・インターアクト委員 柴沼博之 会員

皆さん、こんにちは。

昨年度最終月の6月に第11回全国IA研究会が神戸で行われました。2820地区の茨城からは、地区の太田秀夫IA委員長(日立港RC)と私の2名で参加しました。6月15・16日の2日間で行われ、全国のインターアクト関係のロータリアン104名、インターアクトクラブ関係の先生18名が参加しました。

私も、このような全国の研究会などに出るのは初めてでしたが、国際ロータリーの理事の方、財団管理委員の方など、国際的に活躍されている方が目の前で話されているのを見て、大変なところに来てしまったという感想を持ちました。

最初の講演は、危機管理とファシリテーションという演題でしたが、講演はこの研究会の実行委員長で、地区の青少年奉仕・危機管理委員長で、弁護士をされている西宮イブニングRCの黒田健一様でした。

ファシリテーションという事で、“集団で問題や課題を解決するために、認識を一致させたり、相互理解を促したりするサポートのこと”を指すそうです。RYLAなど青少年の活動に係わるファシリテーターは、セクシャルハラスメント・虐待防止・多様性・公平さ(インクルージョン)に関する研修を受けるものとするという事になっています。

ロータリー章典の行動規範には、青少年に係わるハラスメント・虐待の申し立てがあった時は、72時間以内にRIに報告しなければならない、などのルールがあるそうです。RIはハラスメントに対しては厳格で、ハラスメント加害者だけの問題でなく、クラブ・地区だけでなく、ロータリー全体に影響は及ぶ事であると述べられました。

パネルディスカッションは、『未来のリーダーに届けるべき指導者像』の演題で、3名のパネリスト、馬場一郎様(社会福祉法人イエス団理事長・コープこうべ理事長)と、安行英文様、開催地2680地区のガバナーの方で、曹洞宗の住職)、吉岡博志様(2680地区のバスターガバナー、郵便局長をされていた方)で行われました。

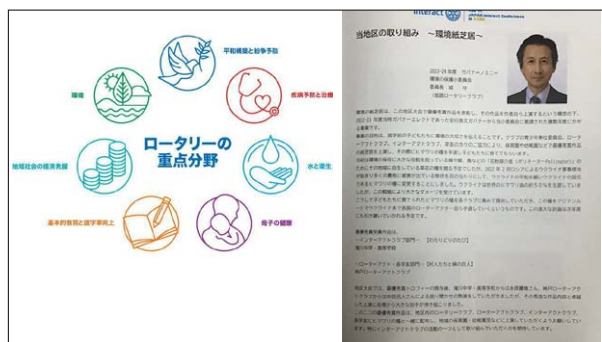
馬場様はイエス団の設立者賀川豊彦氏(牧師)の記念館の館長もされている方から弱者の視点に立った「友愛の経済学」という理念について、バスターガバナーからは、YMCAとロータリー、福祉コミュニティ、ロータリー哲学、その職業倫理と人材育成などの思想を基に、現代社会に携わるうえで、何が求められているのか、インターアクトの生徒たちに対する指導者としての心構えなどについて、ディスカッションされました。馬場様はクリスチャンで、安行様は住職と、それぞれ宗教的な考え方もあって興味深い話でした。

1日目の最後には、環境の取り組みについての話があり、ロータリーの7つの重点分野、平和の推進・疾病との闘い・水と衛生・母子の健康・教育の支援・地域経済の発展とあり、環境の保護が追加されました。

2日目は、3つの分科会が行われました。第1分科会は、インターアクトの国際理解と社会奉仕活動をテーマに行われ、多くの触れ合いの交流ネットワークづくりが必要であり、国際的

なネットワークをどう構築するかも考える必要があるといった内容、第2分科会では、インタラクットの組織と運営のテーマで行われ、クラブの会員/維持/増強や、より効果的な組織づくりと運営を行うための方向性を見出すための分科会でした。第3分科会は、インタラクットと危機管理の演題でした。様々なケースを想定し、危機管理についての意識を確認する重要性、研修等の事前の準備として、保険加入に関することや、アレルギーや服薬等体調面の管理、行き先の地元RCとの連絡や、参加者に行動規範を理解してもらう事、書面による手続きを行う事などが挙げられました。保険に関してですが、ロータリーにはRIJYEM (ライジエム) という組織があり、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構と言いますが、青少年の海外旅行に対応した保険なども扱っており、その説明がありました。

今年は、コロナ渦の影響もあって暫く行われてなかった台湾研修旅行も12月に行われる予定になっていますので、今回の研修が役立つように準備を進めていきたいと思ひます。



地区RLI委員 杉田 一 男 会員

皆さん、こんにちは。
 本日は、大久保年度地区へ出向の話をして頂きます。
 私は職業奉仕委員会でしたので、職業奉仕でのメンタルヘルスでは心の健康とは何か？メンタルヘルスとは体の健康ではなく心の健康状態を意味します。体が軽いか力が湧いてくるといった感覚と同じように、心が軽いか穏やかな気持ち、やる気が湧いてくるような気持ちの時は心が健康と言えるでしょう。

ビジネス社会において、様々な理由で増え続ける従業員のメンタルヘルスの不調、会社の管理職には衛生管理という面からも、生産性向上という側面からも、従業員のメンタルヘルスをサポートすることが求められています。今やメンタルヘルスの基礎知識はマネジメント上では必要なスキルになっているといえるでしょう。

代表的な精神疾患として、気分の落ち込みが激しい、好きな事が楽しめない、イライラする事が多いなど、めまいや頭痛、肩こり、動悸、不眠、集中力の欠損など身体的症状がうつ病から出るケースもあります。2週間以上このような症状が続く場合は要注意です。

メンタルヘルスケアとして厚生労働省では「セルフケア」「ラインによるケア」「事業所内スタッフによるケア」「事業所外資源によるケア」と4つのケアを推奨しています。まずは従業員がストレスチェックを受ける事によってストレス状態に気付き、セルフケアに取り組む事から始め、ストレスを感じている本人がその事に気付く事がメンタルヘルス不調予防の第一歩となります。

途中ですが、時間が来ましたので、これで終わりと致します。ありがとうございました。